

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成22年7月8日(2010.7.8)

【公開番号】特開2008-9392(P2008-9392A)

【公開日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-002

【出願番号】特願2007-135051(P2007-135051)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/30 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 3/30 K

G 0 9 G 3/30 J

G 0 9 G 3/20 6 4 1 K

G 0 9 G 3/20 6 4 1 A

G 0 9 G 3/20 6 4 1 E

G 0 9 G 3/20 6 4 1 G

G 0 9 G 3/20 6 2 1 F

G 0 9 G 3/20 6 4 1 R

G 0 9 G 3/20 6 6 0 V

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月21日(2010.5.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】表示装置及び表示装置の駆動方法

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

発光素子が設けられた画素を複数有する表示装置の駆動方法であって、
前記複数の画素は、それぞれ m 個 (m は m² の整数) のサブ画素を有し、
1 フレームを n 個 (n は n² の整数) のサブフレームに分割し、
前記 n 個のサブフレームにおいて、(p + 1) 番目 (1 ≤ p ≤ n - 1) のサブフレーム
の長さは、p 番目のサブフレームの長さの 2^m 倍であり、
前記 n 個のサブフレームのうちいずれかのサブフレームを、さらに複数のサブフレーム
に分割して、前記 n 個のサブフレームを t 個 (t > n) のサブフレームにし、
前記 t 個のサブフレームのうちいずれかのサブフレームは、ある階調を境に、当該階調
より高い階調を表現する際は常に点灯することを特徴とする表示装置の駆動方法。

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記 m 個のサブ画素の面積は互いに異なることを特徴とする表示装置の駆動方法。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 において、

前記 n 個のサブフレームのうち最長のサブフレームを分割することで、前記 t 個のサブフレームにすることを特徴とする表示装置の駆動方法。

【請求項 4】

請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか一項において、

前記 n 個のサブフレームのうちいずれかのサブフレームを、さらに互いに等しい長さの複数のサブフレームに分割して、前記 t 個のサブフレームにすることを特徴とする表示装置の駆動方法。

【請求項 5】

請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか一項において、

前記 t 個のサブフレームは、各サブフレームの長さの昇順に配置されていることを特徴とする表示装置の駆動方法。

【請求項 6】

請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか一項において、

前記 t 個のサブフレームは、各サブフレームの長さの降順に配置されていることを特徴とする表示装置の駆動方法。

【請求項 7】

請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか一項において、

低階調領域については、輝度を階調に対して線形に変化させ、

前記低階調領域以外の階調領域については、輝度を階調に対して非線形に変化させることを特徴とする表示装置の駆動方法。

【請求項 8】

m 個 (m は $m \geq 2$ の整数) のサブ画素を有する画素を複数有し、

前記 m 個のサブ画素はそれぞれ、発光素子と、信号線と、走査線と、第 1 の電源線と、第 2 の電源線と、選択トランジスタと、駆動トランジスタとを有し、

前記選択トランジスタは、第 1 の電極が前記信号線と電氣的に接続され、第 2 の電極が前記駆動トランジスタのゲート電極と電氣的に接続され、

前記駆動トランジスタは、第 1 の電極が前記第 1 の電源線と電氣的に接続され、

前記発光素子は、第 1 の電極が前記駆動トランジスタの第 2 の電極と電氣的に接続され、第 2 の電極が前記第 2 の電源線に接続され、

1 フレームを n 個 (n は $n \geq 2$ の整数) のサブフレームに分割し、

前記 n 個のサブフレームにおいて、 $(p+1)$ 番目 $(1 \leq p \leq n-1)$ のサブフレームの長さは、 p 番目のサブフレームの長さの 2^m 倍であり、

前記 n 個のサブフレームのうちいずれかのサブフレームを、さらに複数のサブフレームに分割して、前記 n 個のサブフレームを t 個 ($t > n$) のサブフレームにし、

前記 t 個のサブフレームのうちいずれかのサブフレームは、ある階調を境に、当該階調より高い階調を表現する際は常に点灯することを特徴とする表示装置。

【請求項 9】

請求項 8 において、

前記 m 個のサブ画素間で、前記信号線が共有されていることを特徴とする表示装置。

【請求項 10】

請求項 8 において、

前記 m 個のサブ画素のいずれか 2 個のサブ画素間では前記信号線が共有されることを特徴とする表示装置。

【請求項 11】

請求項 8 において、

前記 m 個のサブ画素間で、前記走査線が共有されていることを特徴とする表示装置。

【請求項 12】

請求項 8 において、

前記 m 個のサブ画素のいずれか 2 個のサブ画素間では前記走査線が共有されることを特

徴とする表示装置。

【請求項 1 3】

請求項 8、請求項 9 または請求項 1 1 において、
前記 m 個のサブ画素間で、前記第 1 の電源線が共有されていることを特徴とする表示装置。

【請求項 1 4】

請求項 8、請求項 9 または請求項 1 1 において、
前記 m 個のサブ画素のいずれか 2 個のサブ画素間では前記第 1 の電源線が共有されることを特徴とする表示装置。